

令和8年度シラバス（公民）

学番4 1 新潟県立栃尾高等学校

教科(科目)	公民（政治・経済）	単位数	2単位	年次	3年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	「最新 政治・経済」（実教出版）				
副教材等	「最新図説 政治・経済 2026」（浜島書店）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

- ①現代の日本および世界の政治と経済の諸構造について、広い視野に立って理解を深める。
- ②現代の政治や経済の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力や、公民としての在り方生き方について考察する力の基礎を養う。
- ③自ら個性を発揮し、文化・福祉の発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育成する。

3 指導の重点

- ①政治・経済・国際社会の各分野における基礎的・基本的な知識を身につける。継続的にノートや学習プリントを提出させる。
- ②個性の伸長を図ることを重視するため、自らの興味・関心に基づいて、いくつかの課題から各自で選択し学習する項目を設置する。
- ③新聞・雑誌の記事や視聴覚教材を利用し、現代の政治や経済が身近に捉えることができるよう授業の構成に配慮する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の政治や経済および国際社会の諸課題を考察するための手掛かりとなる具体的事項や理論について理解するとともに、諸資料を踏まえて、公民として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめたりしている。	現代の政治や経済及び国際社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	現代の政治や経済及び国際社会の諸課題に対する関心を高めて意欲的に追究し、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と、現代社会に生きる公民としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・ペーパーテストの分析 ・小テスト・レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 などから総合的に評価します。	・ペーパーテストの分析 ・小テスト・レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから総合的に評価します。	・授業中の発言・発表への取組の観察 ・レポート・ワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規程は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 ～ 6	第1編 現代日本の政治 第1章 現代国家と民主政治 第2章 日本国憲法と基本的人権 第3章 日本の政治と政治参加	教科書 資料集 配布プリント 視聴覚教材	・議会制民主主義と権力分立について、その意義や運営方法について理解させ、法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深める。 ・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間のあり方生き方を考えさせる。	20	・定期考査 ・小テスト ・授業プリント・振り返りシート(記述・内容の確認) ・発言・発表(取り組みの観察)
7 ～ 9	第2編 現代日本の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上	教科書 資料集 配布プリント 視聴覚教材	・激動する経済社会について様々な角度から考察し、個人や企業の経済活動における社会的責任について理解を深める。 ・国民所得などの経済指標に関する理解を深めながら、経済成長など経済状況の動向について考察させる。 ・金融・財政・租税の意義と役割について理解を深めながら、金融政策・財政政策の課題について考察させる。 ・日本経済の軌跡・諸産業の現状・消費者問題・環境問題・労働問題・社会保障制度について理解を深めながら、より良い経済社会のあり方について考察させ、経済活動に参加することは社会的責任が課せられていることに気づかせる。	20	・定期考査 ・小テスト ・授業プリント・振り返りシート(記述・内容の確認) ・発言・発表(取り組みの観察)
10 ～ 12	第3編 現代日本における諸課題の探究 第1編 現代の国際政治 第1章 国際政治の動向と課題 第2編 現代の国際経済 第1章 国際経済理論 第2章 国際経済の動向と課題	教科書 資料集 配布プリント 視聴覚教材	・国内の時事問題を取り上げながら、より良い政治・経済のあり方について考察させる。 ・主権や国際連合の役割、国際政治の諸問題の理解を深めながら、国際社会における日本の役割や日本人の生き方について考察させる。 ・輸入品の価格や海外旅行など身近な事例を取り上げて、貿易や為替を中心に国際経済の諸問題に関する理解を深めさせる。 ・情報通信技術の発達や世界的な規制緩和により経済のグローバル化が展開されていることに注目させながら、地域的経済統合が進展する背景や影響について考察させる。	20	・定期考査 ・小テスト ・授業プリント・振り返りシート(記述・内容の確認) ・発言・発表(取り組みの観察)
1 ～ 3	第3編 国際社会における諸課題の探究	教科書 資料集 配布プリント 視聴覚教材	・海外の時事問題を取り上げながら、持続可能な社会の形成に参画する個人としての自覚を促すとともに、多文化共生社会を実現させるために必要な個人のあり方生き方についての考察を深めさせる。	10	・定期考査 ・小テスト ・授業プリント・振り返りシート(記述・内容の確認) ・発言・発表(取り組みの観察)

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・定期考査ごとに、授業で利用したプリントの内容チェックを実施します。
- ・単元ごとに小テストを実施するとともに、振り返り用のワークシートを記入して提出することもあります。
- ・夏季休業中・冬期休業中の課題については別途連絡します。

8 担当者からの一言

現代の政治と経済の課題について、身近な問題としてとらえることができるように授業を進めます。また、世界に広く目を向け、国際社会における課題を取り上げ、今私達に今できることは何かを考察していく授業にしていきます。日頃から国内外の社会の動向について関心を持ち、授業に臨んでください。